

## 「1950年代教育史」研究部会（第50回）

日時：2020年12月18日（金）13:00～

場所：オンラインで開催（Zoom使用）

出席：米田俊彦・須田将司・鳥居和代・西山伸 兼任研究員

吉久知延所長・金沢千秋・山口和人・川上智子

欠席：大島宏 兼任研究員

内容：（1）米田研究員：「序章 付論「1. 日政連の「結成」まで」および担当章第2節6～8項」

- ◆序章の「付論」日教組の政治団体化について、その後判明したことなどを加筆・修正
  - ・日教組の政治団体化は50年（選挙時のみ）、51年に団体等規制令に基づく政治結社の届出都道府県教組史における選挙に関する記述からみる実態について（資料・記述抜粋）
  - ・地方でも政治団体化が見られ、活発（強引？）な選挙活動が行われていた
- ◆「第2節 1948年教育委員会法による市町村教育委員会の過渡的性格」の原稿検討
  - 6.（文部省初中局）調査課「地方教育委員会に関する調査」
  - 7. 事務局に専任職員を配置できない市町村教委の存在
  - 8. 地方教育委員会連絡協議会

（2）鳥居研究員：「第3節 銚子市の漁業地域における長期欠席の子どもたちへの対応 1, 2」

- ◆担当章「第3節 1, 2項」の原稿検討
  - 1. 銚子市の漁業者の就労・生活状況
    - ・戦前戦中からの銚子市の漁業の変遷
  - 2. 銚子市の訪問教師（長欠児童生徒対策教師）と補導学級の新設
    - ・50年代前半の自治体の動きについて
    - 地教行法以前は自治体独自で対策をすすめられた？

（コメント）行政側の視点、漁協側の視点、また実際の生徒の資料があるといいのでは  
→市議会議事録や、漁協史、市立中学校史誌などの資料を探す

・次回研究会は、2021年1月29日（金）13:00～。 大島研究員・西山研究員発表予定